

事業報告書

I 事業の概況

1. 事業の経過

国内の景況はアベノミクスの影響により、株高、円安に推移し、全般的に回復傾向に動いてきていると言われておりましたが、業種によって良し悪しがあり、地方においてはまだまだその実感を掴みきれず、特に小規模事業者にとっては厳しさが依然として変わらず苦戦のまま一年が経過してしまいました。

このような中、前年度まで入館者が3年連続で増加し、下げ止まり感を感じたことで、25年1月から夜間大人入館料を100円値上げに踏み切り経営改善に努め、健全経営に回復できるように懸命に努力してまいりました。しかし、逆にそれが悪影響となり平日夜間を中心に入館者を大きく減らす結果となり、7月単月で創業以来初めて赤字を計上するなど厳しい上半期の運営となってしまいました。

そこで、下半期に少しでも収益を取り戻すべく忘新年会プランの内容を大きく見直し営業活動を実施するなどして対前年件数で23%増、売上で28%増と一定の成果を見ることが出来ました。しかし、入館者の減少傾向に歯止めが掛からず前年度より約8千人減の137,915人となり過去最低を記録しました。

その結果、経営状況では、売上実績が2億4千万円まで落ち込み、販管費についても人件費は前年度より削減が出来たものの、電気、ガス等光熱費の値上げの影響や修繕などの経費がかさみほぼ前年度並の費用となり、今期も力及ばず当期損失を計上し、当期純損失額が998万円と不本意な結果となってしまいました。

26年度は新潟市から指定管理を受けている期間の最終年度となります。継続して指定を受けるためにも旧に倍する経営努力が問われるところです。そこで、専門のコンサルタントから接客から食に関するまでの指導を受け、全てがお客様のために努力することで従業員全員が一丸となり、黒字転換の達成が出来るよう鋭意努力しているところです。新潟市ご当局をはじめ株主各位並びに関係各位の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

2. 投資の状況

(1) 当年度中に完成した主な設備 無し

3. 売上内容

(単位:千円)

年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (当年度)
入館料売上	95,584	95,222	96,924	94,070
回数券利用券売上	5,530	5,688	4,431	4,585
貸室料売上	2,510	2,326	2,162	2,348
自販機売上	14,685	15,180	15,885	15,055
ゲーム機売上	1,316	1,299	1,160	1,133
食堂売上	112,258	110,121	105,410	99,222
売店売上	11,424	11,264	11,204	11,721
その他売上	16,518	15,197	13,546	12,266
合計	259,828	256,302	250,725	240,403

4. 営業成績及び財産の状況

(単位:千円)

年度 区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (当年度)
売上高	259,828	256,302	250,725	240,403
経常利益	418	△4,979	△2,346	△9,805
当期純利益	△331	△5,378	△2,526	△9,985
一株当たりの当期純利益(円)	△189.01	△3,062.76	△1,438.65	△5,686.26
資産の部合計	104,044	98,879	95,474	84,934
入館者数	145,119人	145,539人	146,007人	137,915人
(入館者数内大人)	(135,069人)	(135,527人)	(135,446人)	(128,028人)
(入館者数内子供)	(10,050人)	(10,012人)	(10,561人)	(9,887人)